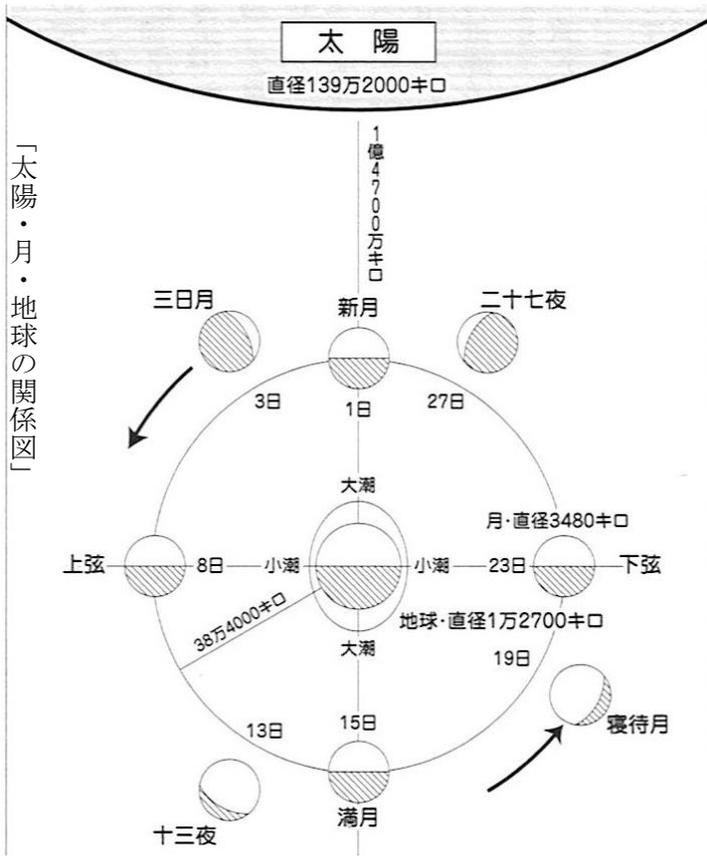


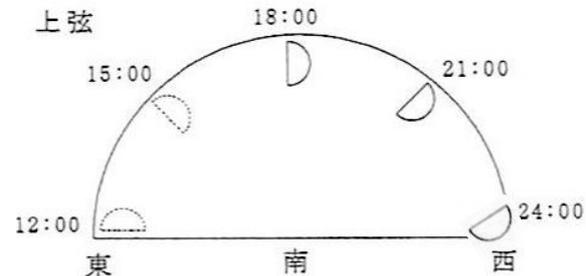
月の満ち欠け、上弦・下弦の月の上弦、下弦とはどういう意味か（付暦のことも） 若生克雄

◆月の満ち欠けはどうして起こるか 月は光を発しない天体で、太陽の光を反射している。それで太陽・月・地球の位置関係で光る部分と影になって暗いところが出る。これが満ち欠けである。

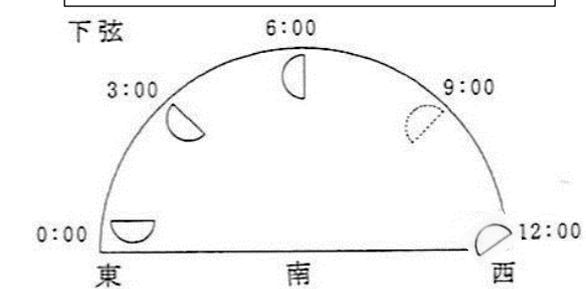


◇月の形の変化 松村賢治著『旧暦と暮らす』より

上弦の月の上弦とは、月の入りのとき弦が上を向いている。
下の図のように、正午頃が月の出で、宵の西空に見えて、夜中には沈む。
弓の形に例える

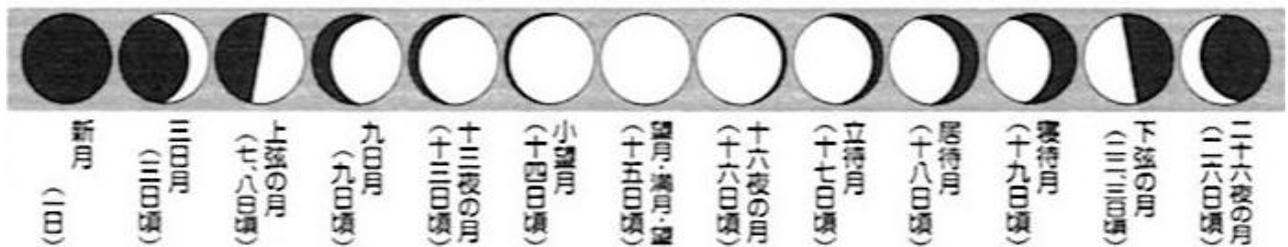


下弦の月は、月の入りのとき弦が下を向いている。下図のように、夜半に出て朝方真南にあり、正午に沈む。



※地球から見て太陽と月が90度離れているとき半月に見える。その半月を弓張月といい、上弦・下弦の月と呼ぶ。（関係図参照）

上の図は『地学は何ができるか』より抜粋 一部修正



◇朔望月さくぼうげつ: 上の図のように月の形が新月から新月までの1周期を1朔望月という。それが約 29.5 日である。このような月の満ち欠けの周期をもとにした暦が太陰暦である。

◆純粹太陰暦: この暦法では29日を小の月と30日を大の月を組み合わせると12ヶ月する。1年が354日で1太陽年の365日に比べて11日不足する。これで行くと3年程で1ヶ月間、この暦のほうが進んでしまう。（イスラム暦）

【月の形と見える方角・時刻】 この表の時刻は、大まかな数値で、季節により1時間の差もでる。

月の形	東(月の出)	南東	真南	南西	西(月の入)	摘要
新月	—	—	—	—	—	新月は太陽と同じ方向で、見えない。
三日月	9:00	12:00	15:00	18:00	21:00	宵の南西の空、21時頃沈む。
上弦の月	12:00	15:00	18:00	21:00	24:00	夕暮れに真南、夜半に沈む。
満月	18:00	21:00	24:00	3:00	6:00	夕方東、夜半真南、朝方沈む。
下弦の月	0:00	3:00	6:00	9:00	12:00	夜半に出る、朝方真南、昼に沈む。
二十六夜の月	3:00	6:00	9:00	12:00	15:00	朝方南東、9時頃真南、15時頃沈む。

◇月夜の晩とか夜半の月は、満月で、一晩中見えるのは満月だけである。三日月を夜半やはんに見ることはない。